

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672100189
法人名	株式会社 一幸
事業所名	グループホーム みどりの郷
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町上別府4627番地 (電話) 0993-28-2250
自己評価作成日	平成31年2月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、利用者様が住み慣れた環境で、グループホームでの生活に生きがいを感じ、気ままに生活して頂けるよう環境作りに努めている。施設内には畑があり一緒に野菜作り、成長や収穫する楽しみを利用者様、職員と一緒に感じて頂けるように努めている。また、畑で収穫した野菜は食事にも使用したり、おやつにも出したりして、収穫の喜びを一緒に感じている。芋ほりの際は、車椅子利用の利用者様も畑に入り泥だらけになりながら、職員と一緒に収穫している。来年度は、近隣の保育園と農業体験、福祉体験もかねて交流し、植え付けから収穫まで参加して頂き交流を行う予定である。

当施設を運営する法人で年2回、地域交流、地域活性化、利用者様やご家族の交流の場として、こおり DE マーケットを開催している。イベントの規模も回を増す事に大きくなり、利用者様も買い物を楽しんだり、ご家族と一緒に買い物をするなど楽しみのイベントの一つである。また、事業所のある地域でも、地域の夏祭りに参加したり、保育園の夏祭りや運動会の見学など参加している。事業所の目の前に地域の公園があり、毎月公園の清掃を、利用者様と行い地域の中で役割を持てるように活動を行っている。

- ・当事業所は自然環境にも恵まれた住宅地域に立地している。周辺には郵便局やスーパーマーケット、小・中学校があり、民家も多く、地域の人々とふれあいながら生活できる環境にある。
- ・同法人の小規模多機能ホームが併設されており、災害時の協力関係も構築している。
- ・協力医療機関とは24時間対応の連携体制が整っており、訪問看護師との連携も図られ、緊急時の対応などに適切な医療が受けられる。
- ・自治会に加入し、夏祭りや運動会・清掃活動などの地域行事に積極的に参加している。法人の「こおり DE マーケット」などの行事にも多くの地域の人々の参加があり、交流の場となっている。
- ・利用者が張り合いや喜びに繋げるように、施設内の畑で一緒に野菜や芋を作り、成長や収穫の楽しみに反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人の理念のもと事業所の理念を作成し、実践できるように日々努めている。</p>	<p>法人理念のもと作成した事業所独自の理念を、フロアに掲示し、パンフレットにも掲載している。毎週金曜日に唱和し、振り返り、理念を共有して実践に繋げている。3～4年毎に見直しをしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入しており自治会の清掃活動に利用者様と参加している。また地域の夏祭りへの参加や、近くの保育園との交流も行っている。また事業所の消防訓練等にも地域の方に参加して頂いている。</p>	<p>自治会に加入し、地域行事の夏祭りや清掃活動などに積極的に参加している。保育園児との交流やボランティア受け入れも行っている。事業所の芋畑で、子どもたちとの農業体験等を計画中である。野菜の差し入れもあるなど、日常的に交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>介護の相談や見学対応はいつでも受け入れている。法人内の介護基礎勉強会に地域の方の参加可能である。また、福祉体験の受け入れも行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の自治会、民生委員、行政、ご家族代表、地域住民の方々に参加して頂き、活動の報告や、参加者の意見交換の場となっている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。台風時の停電に備えて、発電機導入の検討をしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当部署に行った際に相談や手続きなどを行い、顔の見える関係作りを行っている。また、市主催の研修会に参加するなどし、市の担当部署や地域の他事業所の方々との連携を深めている。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え連携を深めている。毎年介護相談員を受け入れている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市福祉課の担当者とも密に連絡合っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>基本的には身体拘束は原則しないケアをおこなっている。また、法人や事業所で身体拘束の勉強会を開催し、日々のケアを見直しながら、ケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルに沿って年2回、勉強会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束など日々確認している。家族の意見を聞きながらセンサーを利用することもある。昼間、玄関には施錠せず、外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について介護基礎勉強会に参加し、正しい知識を持ちケアに活かしている。また、日々のケアの中で利用者様の精神状態や身体的な障害になるような事が無いか検討している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会や勉強会に参加し、学習に努めている。日常自立支援事業を利用されている方もおられる為、その都度権利擁護に関する制度についても学習している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、重要事項説明等は詳細な説明を行い、利用者様、ご家族様の納得が得られた上で契約を結んでいる。また、入所されてからも利用者様、ご家族様の要望や改善等で必要と思われる時には、随時文書等にて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様やご家族様の意見や要望については、運営推進会議やたより等で報告し、改善に向けて話し合いを行っている。また、ご家族とも連絡を密にとり、信頼関係を築き、何でも言い合える関係性を目指し、ご意見、ご要望がないか確認している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは、面会時や運営推進会議・行事参加時に、意見を言える雰囲気作りをしている。希望で墓参やドライブで自宅付近まで出かけたたり、芋を蒸かしたりして、その人らしい思いを反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼や普段の会話の中で、職員から意見や要望等が話しやすい環境を作れるように努めている。また、必要に応じて個人面談を行い、意見や要望、また仕事をする中でストレスや悩み等を出しやすい雰囲気や環境等を作るように努めている。</p>	<p>管理者は朝礼や会話の中で、職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された提案でダンボールで衝立を作り多方面に利用したり、水分量や排尿量を記録し、ケアに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は定期的に事業所に訪問し、職員の努力や能力、勤務状態の把握に努めている。また、管理者からも職員の状況なども報告している。法人として、年2回人事評価を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会や介護講演会等の案内や参加の促し等を行っている。また、法人内の介護基礎勉強会を開催し、参加する機会を提供している。資格取得に関しても、資格試験の案内等を行い、チャレンジする機会を提供している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の見学や当事業所での研修受け入れなども行ない、ケアの質の向上に努めている。また、市主催の研修会や、グループホーム連絡協議会の研修や意見交換会にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に、家庭や病院等に訪問し、本人やご家族と面会して、生活状況や身体状況等の把握、不安な事や要望等を聞き、早い段階で信頼関係が築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っている事や不安な事、今後の生活の要望等に耳を傾け、その不安な事等に少しでも寄り添う事ができるように努めている。また、思い・確認シートを作成し、ご家族の思いを記入して頂き、ケアに反映できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、本人やご家族の状態を聞いたうえで、他のサービスやその方の希望する施設の紹介なども行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔ながらの習慣や習わし、農作物の育て方や収穫のタイミング、料理の味付けなど、ご利用者様が得意な事などを聞いたり、教えて頂いたりしている。その方の得意な事を見極め、一緒に行う事ができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等への参加のご案内や、面会時や電話で普段の様子をお伝えしたり、利用者様の要望等をお伝えするなど、利用者様やご家族がいつまでも良い関係が保てるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までご本人さんが築いてきた関係や場所が途切れる事が無いように、いつでも面会ができる体制や、電話をかけたり、イベント等外出時に、近所の方や顔なじみの方と交流の場がいつでも持てるように努めている。	親戚や地域の人々の訪問を奨励し、気軽に訪問できる環境である。行きつけの理美容院の利用や手紙・電話などの取次ぎも行って、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外食・墓参の際などにも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握して、職員間で情報共有できるように努めている。その情報をもとに、入浴の順番や、ホールの席の場所を決めたり、話題の提供やコミュニケーションが円滑に図れるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居先や家族への詳しい情報提供を行うとともに、入院先にお見舞いに行ったり、ご家族に連絡したりして支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で思いや要望、希望を聞きケアに繋げている。また、思い・確認シートを活用して意向を記入して頂き、ケアに活かしている	日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。「思い・確認シート」も活用している。困難な場合は、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から聞き、本人の暮らしぶりや、生活歴、仕事など情報を聞きケアに繋げている。また、その情報をケアに活かすため、情報共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活する中で、本人の出来る事や、出来ない事を把握し、情報共有に努め、一人一人の生活のリズムを尊重し、支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員からの普段のケアの様子や本人の身体状況などを情報共有して、介護計画に反映している。また、思い・確認シートを活用している。状況に応じて医療機関の主治医や看護師からも意見を頂き、反映させるようにしている。	本人や家族に意向を確認し、主治医の意見も踏まえ、担当者会議で個々に応じた介護計画を作成している。「思い・確認シート」も活用している。モニタリングは、3ヶ月毎に実施し、必要時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を用意して、日勤者、夜勤者が日々の様子を記録している。細かく記録を記入する事で様々な情報を共有できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族などの状況や要望に応じて病院受診や自宅訪問等必要な支援を柔軟に対応している。また、近隣の医療機関と医療連携を結んでおり、看護師による健康管理、相談やアドバイス等を頂いている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所が自治会に入っており、自治会の公園を利用したり、地域との交流で近隣の保育園の夏祭りや運動会の参加、自治会の夏祭りの参加など自治会の行事も参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保しており、基本的には職員が同行して日々の状態や病状等を伝えている。また、ご家族が受診に行き下される際は、受診報告書を作成して、不安なく受診できるように努めている。また、気になる事などある時は、主治医や看護師からアドバイスを頂いたり、相談して、日頃より良い関係性が築けるように、努めている。	本人及び家族の希望で、ほとんど協力医療機関が主治医となっている。2週間に1回の往診や歯科・皮膚科の往診もある。受診は事業所に対応している。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診結果は家族と共有している。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。「緊急時情報ノート」が整備されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の状態で何かある場合は、看護職員に相談したり、主治医や協力医療機関、医療連携の看護師に相談し、アドバイスを頂いたりしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は適切な情報提供をするとともに、こまめな面会を行っている。面会する事で利用者、ご家族の不安解消に努めながら、本人、家族の希望を聞きながら、病院とも連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、入居時はもちろんの事、状態変化時に現状の説明を行い、全職員での支援を行っている。</p>	<p>契約時に「看取りに関する指針」を利用者と家族に説明し、同意を得ている。状態変化に伴い、かかりつけ医の意見を踏まえて、随時、本人や家族と話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に一度消防署にお願いして、救命講習を受けている。また法人でも勉強会等を開催し、学ぶ場面の提供をしている。普段より医療連携の担当看護師に相談し、指導して頂いている。またAEDも設置しており、訓練も行い、地域住民にも設置を周知している。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に通報訓練や避難訓練を実施して、非常時に円滑に避難できるように努めている。また訓練の際は地域の方にもお願いし、訓練にも参加して頂いている。また、年に一度行方不明者捜索訓練も実施しており、不測の事態が起こった際も慌てずに行えるように努めている。</p>	<p>消防署立会いのもと年2回、地震想定も含めた、昼夜想定避難訓練を実施している。町内会長が自治会に放送で呼びかけての参加があるなど、地域との協力関係もできている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、設備は定期的に点検している。発電設備を整える方向である。災害時の水や米・食料品等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に応じた声掛けや自尊心やプライバシーに配慮した声掛けをするように心がけている。また、場面場面で職員には指導、教育しながら、全職員でケアにあたっている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションの参加や入浴の有無、食事形態や好き嫌いなど日常生活の中で利用者の希望や意見を言える雰囲気作りを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間、入浴など利用者様の希望、ペースに合わせて柔軟に対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしさを大切に、好みの服を着て頂けるように、声かけをおこなっている。また、訪問理容時に、髪型も本人の希望に添えるように、希望を聞きお伝えするなど配慮をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	いつまでも食事を美味しく食べて頂く事を大切にケアをおこなっている。最近一緒に調理を行う事は少なくなったが、バーベキュー大会や、そうめん流し大会などおこなっている。また調理の勉強会を開催し、美味しい食事が提供できるように努めている。	アセスメント等を参考にして、旬の食材を利用し栄養士の献立を基に、専任の職員が作成している。味見や片付けなど職員と一緒にいたりしている。開設記念日や敬老会・誕生会・ソーメン流し・バーベキュー・季節の行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の大まかな食事、水分量など把握している。また、以前栄養士がたてた献立を基に、職員が作成して食事を提供している。また、その方の状態に応じてとろみを使用したり、切り方の工夫など配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きや義歯洗浄の声かけ、必要に応じての介助等行っている。また義歯チェック表を作成し、忘れる事が無いように努めている。また、感染症予防の為にもお茶うがいを今年から始めて、実践している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努めており、それを基に声かけ、誘導など行っている。少しでもトイレで排泄が出来るように努めている。	排泄のパターンを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間はおむつやポータブルトイレ利用者もいる。個々人の状況や意向を大切に排泄用品を使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や運動、腹部マッサージで自然に出るように努めている。状況に応じて、主治医などに相談し対応策を考えたり、アドバイスを頂いたりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様にとって入浴は楽しみの一つである為、楽しい雰囲気の入浴できるように支援している。基本的な入浴日を設けているが、希望があれば入浴出来るように柔軟に対応している。	入浴は基本的には週3回、午前中になっているが、土・日・祝日は午後にするなど、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。希望で同性介助も対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の日光浴やレクリエーション、体操など日中の活動を通して、生活リズムを作れるように努力している。また、休息したい時や、一人の時間を作りたい時は、柔軟に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様一人一人の薬の情報シート（薬情やお薬手帳）を保管して用法や副作用等について把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農作業や家事などその方の生活歴を把握し、様々な経験や得意な事など活かしていけるように支援を行っている。また、季節ごとの行事を行ったり、外出する機会を作れるようにご家族とも協力しながら支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日などは日光浴をしたり、温かい時は外で行うレクリエーションを行ったりしている。またご家族にお願いしてお墓まえりに行ったりと、ご家族とも協力しながら支援を行っている。	日常的には、体調などを考慮し周辺の散歩や外気浴・中庭でのレクリエーションなどを楽しんでいる。希望でドライブや買い物支援もしている。法人主催の「こおり DE マーケット」にも参加して地域の人々と交流している。計画を立て、ソーメン流しなどにも出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じ、ご家族とも相談しながら、本人に管理して頂いたりしている。近くの商店で買い物をしたり、病院受診の帰りなどに行かれたり、家族の方をお願いするなど対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人より希望がある場合や、職員からご家族に電話した際に、変わって話ができるように支援したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは天井が高く、自然な光が明るく入ってきて開放感がある。季節ごとのお花や、飾り物などを見て自然に季節を感じる事ができるように、掲示物にも配慮している。	ホールは、天井が高く開放的である。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。濡れタオルを室内にかけたりしている。季節ごとの花を飾り、廊下には行事の写真や季節感を大事にした飾りつけもしている。キッチンも開放的で会話が楽しめる。多くのソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや玄関にはソファが置かれ、中庭にもベンチを置いてある。また談話室などの畳の部屋を使用したりして一人でも過ごせる空間となっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り、入居時に思い出の品や写真など持ってきて頂くようお願いをしている。またご主人さんのお位牌を持って来られている方もおり、毎朝お茶を入れてあげるなど、気持ち良く生活できるように努めている。	居室はベッドとクローゼット・ダンスが備え付けで、布団はリースである。テレビや位牌・写真・花など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。必要に応じてポータブルトイレが置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には必要な所に手すりを配置して、バリアフリーとなっている。また、ベッドの位置や、ダンス、クローゼットなど利用者様やご家族から要望があれば配置を変えるなど柔軟に対応している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない